

イタリア生まれの本格登山靴メーカー 汎用性と信頼性を備えた ケイランドのトレッキングブーツ

ヨーロッパでは知られていながら、日本ではよく知られていないアルパインシューズがケイランドだ。しかし、日本での取り扱いがアルパインクライミングをよく知るマジックマウンテンに代わり、今後の躍進が期待されている。幅広いラインナップから、まずはおすすめの3型をご紹介します。

文●伊藤英明 Text by Hideaki Ito
写真●落合明人 Photo by Akito Ochiai



ビトリックGTX/ビトリック・ウィメンズGTX
¥20,000
サイズ：24.5~28.0cm(メンズ)、22.5~25.0cm(ウィメンズ)
カラー：ティールブルー(メンズ)、セージグリーン(ウィメンズ)
重量：410g(メンズ26.5cm片足)、370g(ウィメンズ24cm片足)

濡れた岩場でも滑りにくい、ビブラム社のフルメカグリップを使用したアプローチシューズの新作。ミッドソールにマイクロボラスを使い、タフなアプローチでも疲れな

ブルームマイクロGTX/ブルームマイクロ・ウィメンズGTX
¥24,000
サイズ：24.5~28.0cm(メンズ)、22.5~25.5cm(ウィメンズ)
カラー：ブルー×オレンジ(メンズ)、グレー×ライトグリーン(ウィメンズ)
重量：560g(メンズ26.5cm片足)、480g(ウィメンズ24cm片足)

日帰りやライトトレッキングを想定したハイキングラインの新作。クッション性が高いマイクロボラスをミッドソールに使い、着地の衝撃を緩和。快適な歩行を可能にする

ケイランドはイタリアの登山靴メーカー。靴職人のジヨバンニ・ビットアンテが1971年に創業した。ヨーロッパでは、雪と氷の山を相手にする本格的な登山靴を手がけるメーカーとして知られる。日本では90年ごろから輸入販売が始まった。これまで代理店が二転三転してきたが、一昨年からマジックマウンテンが扱っている。餅は餅屋。収まる場所に収まった感がある。同社がサポートするアルパインクライマー山野井泰史や馬目弘仁がすでに冬季登攀で使い、好感触を得ているといえは、メーカーの紹介も十分だろう。

登山スタイルの多様化に合わせて、近年はアプローチシューズからトレッキングシューズまで幅広く手がけているが、得意とするのは本格的なアルパインブーツ。そのDNAを色濃く引き継いでいるのが3シーズンモデルのクロスマウンテンGTXだ。

アッパーはナイロンとスエードのコンビで軽さと耐久性を両立。シューレースと連動するウェビングでヒールカップをフィットさせるALS(Ankle Lock System)を搭載し、足首からかかとまでを包み込むようにホルドする。ソールはビブラム・ムラツで岩場もしっかりグリップ。セミワンタッチクランポンが装着可能で、残雪期から初冬まで幅広く使える。

たとえば、この夏北アルプスを歩くなら、購入候補に入れておくことをおすすめする。足に合えば、きつと満足できるだろう。



かかとはプラスチックで補強したゴパを備え、レバーで固定するセミワンタッチクランポンの装着に対応している

クロスマウンテンGTX(左)/クロスマウンテン・ウィメンズGTX(右)
¥30,000
サイズ：24.5~28.5cm(メンズ)、22.0~25.5cm(ウィメンズ)
カラー：レッド(メンズ)、グレー(ウィメンズ)、他2色
重量：680g(メンズ26cm片足)、560g(ウィメンズ23cm片足)

3シーズン使える同社の定番。アッパーにはゴアテックスをライニングする。カカトと足首をつなぐ黄色と黒のウェビングがALS。カカトをしっかりホルドしてくれる。メンズ、ウィメンズともに今季はカラーを一新



ピンク(ウィメンズ)

アントラサイト(メンズ)